

国語科の授業改善の指標を明確にした校内研究の取組 ～菊池市立泗水西小学校～

単元デザインの指標を明確化

単元で指導すべき内容を、「用語」と「方法」に分け、基礎基本として明確化し、徹底指導によって習得させる段階と、活用によって理解を深める段階に計画し、単元デザインに落とし込む。

用語は教科書記載の太字の語だが、学習指導要領解説から取り出すこともある。

「単元終了時の子供の姿」とともに、この単元では何を学ぶのかを教師自身がより明確に把握し、子供にも明確に示すことで見通しや振り返りの視点ももたせることが授業改善の指標となる。

習得させる用語		①人物 ②場面	習得させる方法	①場面の分け方 ②人物の気持ちを考える方法 ③音読の仕方
指導計画と評価計画（10時間取扱い 本時5/10）				
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	用語・方法の習得	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	3	○初発の感想を交流し学習課題を確かめて、学習の見通しを立てる。	用語① 方法① 方法② 方法③	★【態①】（発言） ○「おとうとねずみ チロ」を読んで、自分の体験と結びつけて思ったことを伝え合うとしている。
		○出てきた人物を確かめて物語の大体の流れをつかむ。 ○場面分けをする。		★【知①】（ノート、発言） ○誰が何をしたのかが分かり、お話の大体を捉えることができる。 ★【思①】（教科書） ○「人」「場所」「時」に着目し、場面を分けている。
二	5	○「手紙を受け取った場面」のチロの気持ちを想像する。	用語② 方法② 方法③	★【態①】（ノート、発言） ○手紙をもらったときのチロの行動や会話に着目し、様子を想像しながら読んでいる。
		○「おばあちゃんにお願いする場面」のチロの気持ちを想像する。 ○「チョッキが届いた場面」のチロの気持ちを想像する。 ○「おばあちゃんにお礼を言う場面」のチロの気持ちを想像する。 ○想像したチロの気持ちが伝わるように声に出して読む。		★【思①】（ノート、発言） ○おばあちゃんにお願いするチロの行動や会話に着目し、様子を想像しながら読んでいる。 ★【態①】（ノート、発言） ○チョッキが届いたときのチロの行動や会話に着目し、様子を想像しながら読んでいる。 ★【思②】（ノート、発言） ○文章の内容と自分の体験を結びつけて、感想を持っている。 ★【知②】（音読） ○語のまとまりや、言葉の響きに気をつけて音読している。
三	2	○「なりきり音読発表会」をする。 ○音読発表会を振り返り、本単元で身につけた力を振り返る。	活用	★【態①】（音読） ○人物の行動を具体的に想像し、チロになりきって読もうとしている。 ★【思①】（ノート） ○本単元での学びを具体的に振り返っている。

明確な指標で授業づくり

授業力向上

明確な指標で事後研

ファシリテートの指標を明確化

【授業場面の分類】…図1

45分の授業を、学習指導場面、個人学習場面、グループ学習場面、マネジメント場面（活動がなく何もしていない状況、準備をしている状況）に分けて、授業を振り返る。学習指導場面が長いと、話を聞く時間が増え、主体的学習から離れてしまう。よって、**学習指導場面とマネジメント場面を必要最小限にすることが授業改善の指標となる。**

【教師の声かけの分析】…図2

教師の言葉がけを8項目16種類に分類することで、授業の様子や状況を検討していく。否定的な声かけをなくし、**肯定的な声かけや励ましを心がけ、矯正は具体的に行うことが授業改善の指標となる。**

図1

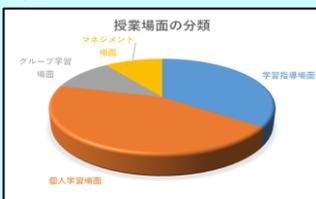


図2

	個人	集団	合計	
発問	2	20	22	
肯定的	一般的	8	6	14
	具体的	24	6	30
修正的	一般的	0	0	0
	具体的	16	6	22
否定的	一般的	0	0	0
	具体的	0	0	0
励まし	34	10	44	
合計	84	48	132	

子供に与える情報精選指標の明確化

学習構想案において、板書計画とICT活用計画は必須としている。板書は**必要な情報があるか、情報過多になっていないか、構造的で分かりやすいものになっているか**、ICTは単に活用するにとどまらず、**効果的であるかが授業改善の指標となる。**

【板書計画】

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等  
場面の挿絵と本文を提示し、チロの気持ちを考える手がかりとする。